

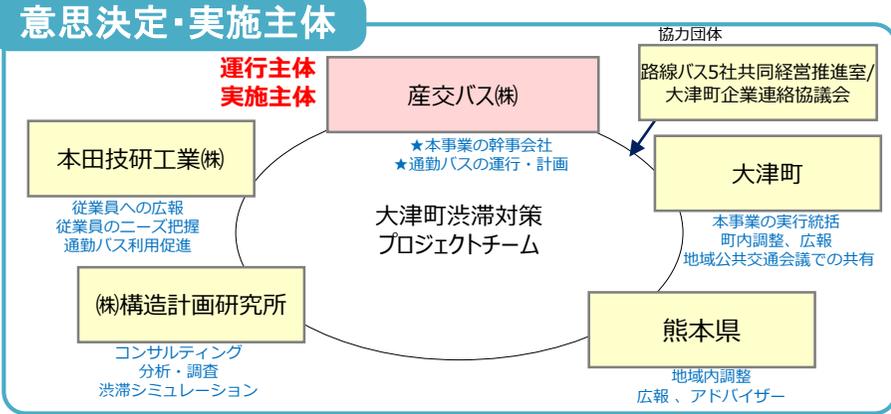
- 区分 **A 中小都市、過疎地など** [人口10万人未満の自治体]
- 空間的交通空白の解消
- 他分野による交通事業の活用
- その他

対象地域

- 地域：熊本県大津町
- 人口：35,187人
- 世帯数：14,165世帯
- 高齢化率：21.8%
- 面積：99km²

背景・お困りごと

- 企業等が多く集積する菊池南部地域では、従前から**通勤時間帯の交通渋滞が慢性化**
- 台湾積体回路製造 (TSMC) の立地も伴い、当地域では半導体関連企業等の進出が増加している中、交通渋滞の更なる激化が見込まれるが、幹線道路などの**ハード整備は完成までに時間を要する**



実施内容

JR肥後大津駅から本田技研工業前(室工業団地)を經由し、本田技研工業熊本製作所構内までの区間において通勤バスを運行【朝8便、夕12便】

概要

- モード：路線バス (道路運送法第4条許可)
- 予約方法：なし
- 料金：180円～250円



重要ポイント

- バスルートを**肥後大津駅南口発から駅北口発に変更**するとともに、**JR肥後大津駅に発着する電車と接続運行**とし、本田技研工業工場内へルートを延伸し、本田技研工業構内にバス停を3か所新設し**利用者の利便性向上**を図った
- 熊本県、大津町、本田技研工業、構造計画研究所、産交バスで**渋滞対策プロジェクトチームを結成**し、定期的に全体会議を開催しながら合意形成や施策検討を実施した
- 近隣のホテルなどにチラシを配布し、**出張で訪れるビジネスマンにPR**を実施した

運行実績・成果

- 運行期間：2024/10/1～2025/2/21(平日98日運行)
- 利用者数：9,118名 (1,960運行)
- 平均乗合人数：4.65人/1運行

運行実績

収入	2,335,195円 (内訳 運賃収入:2,335,195円)
支出	初期費用 23,604,060円 (車両購入費・ラッピング費・PRチラシ作成費)
	ランニングコスト 3,056,738円 (運行費用)
損益	▲24,325,603円 ※大津町・本田技研工業・産交バスが負担 (共創・MaaS実証プロジェクトを活用)

成果

- 実証運行期間中は**周辺道路の交通量減少の傾向**がみられ、その他便益として**利用者の交通事故の減少や環境負荷低減(CO2削減)**が挙げられる
- 車から公共交通機関へ転換を促進し、通勤手段の選択肢拡大が図られるとともに、実証運行区間周辺における**渋滞緩和に貢献**
- 公共交通による通勤環境整備は、車や免許を保有しない方や都市圏からの移住者の**雇用に寄与**することが考えられる

今後の事業展開

<今後の事業展開時の運行における根拠法令(予定)：道路運送法第4条許可>

- 利用者数、公共交通事業としての収支、社会的便益を含めた収支、費用負担(受益者・関係者間)、将来的な見込み、環境要因(交流人口、企業進出、道路整備等の状況)等を総合的に勘案した上で、議論・検討を重ねながら、次年度以降の継続運行を目指す